

日時：平成 29 年 10 月 20 日（金）14 時 00 分～16 時 00 分

場所：本校校長室 司会：中村 記録：阿尾

1. 校長挨拶

創立 10 周年記念式典について

衆議院選に関連して → 3 年生での取り組み…選挙についての学習をしました。

学習・進路について → センターテスト志願者 昨年度より 2.4 倍増（41 人）

→ 就職…ほぼ希望者全員が決まっている

修学旅行について → 12 月 2 日から 5 日の日程で沖縄県八重山諸島へ行きます。

2. 会長挨拶

18 歳になっても選挙権のない生徒もいることに配慮することが大切。

3. 確かな学力の育成について

○第 1 回授業アンケート実施後の検証【校長より】

・質問 8・9 満足度 → 75%程度 一昨年とほぼ同じ

・他の質問項目の傾向を分析した。生徒の多くは「先生は丁寧で工夫して分かりやすく教えている」と感じている。一方で、「あまり生徒の意見や要望を聞いてくれない」とこ当てる生徒の割合も高い。一見矛盾するが、これは、予習・復習をしていない生徒が多く、進度が速い、もっと詳しく分かりやすく教えてほしいと感じているからではないか。先生は承知しながらも生徒に迎合してばかりの授業になってはいけなと進んでいくこともある。

→ いかに学習習慣をつけさせるのが最重要課題。

○授業アンケート結果に基づくセルフチェック【校長より】

・生徒の声より一小テストの返却時の一言で頑張れるようになった。生徒に発表させたり、グループ学習したり寝ている暇がないほど頭を使う。ICTなどを使う授業は分かりやすい。

●質疑応答・提言

・学習習慣の定着と学力向上にむけてのさまざまな実践例やアイデアが出されました。

○授業力向上勉強会について【教頭】

・若手教員を中心に実施。昨年度は他県の高校へ視察し全体に報告した。今年度も計画中で、まず、10 月 30 日（月）の代休日に大教大附属高校天王寺校舎の授業を見学する予定。

・体育の授業では、誰ができて誰ができないかがすぐわかる。指導が的確なので上達もわかる。座学でも生徒のそばにいて、どこでつまづいているかを見ると気がつく。一人ひとりを把握するためには少人数制など講座人数も重要。

・英語では始めからペアワークで、先生が質問する時もペアに当てている。生徒は予習をしないと相手に悪く思い、予習もしっかりやっているようだ。このような工夫は十分効果がある。

●質疑応答・提言

・中学校では特に特に期間を設けていないが、授業観察シートを使って相互授業見学を行っている。

4. 教育活動の進捗状況について【分掌長・学年主任】

①教務部

・教科書の採択について前回の資料通りに採択完了。

・専門コース制の説明は昨年度より手厚くなった。担任などを通じて生徒の適性に合った選択となるように声かけを

行い、実ある講座編成になるよう計画中。

②生徒指導部

- ・遅刻者数は昨年度に比べて2割減の状況。5年前から半減している。
- ・現在の部活動加入率は57%。入っても続かない生徒が一定数いる。
- ・身だしなみの啓発指導を定期的に行っている。式典等ではネクタイ、リボン着用を促している。来年度から全学年ピアス禁止で統一し、保護者の協力を得ながら進めていく。
- ・通学途上の自転車事故について、前回6件から13件に増加している。繰り返し安全通学を心がけるよう注意する。

③進路指導部

- ・家庭学習時間の確保と進路指導の充実を図る。休日に学習する生徒が前年より多いがさらにアップさせたい。
- ・模擬テストの前に過去問題を配布して取り組ませ自己採点をさせており、今年度の模擬テストの成績も上がった。

④保健部

- ・「生徒保健だより」で基本的な生活習慣の改善などを発信した。歯科検診時には検診前にDVDを視聴し、虫歯予防を呼びかけた(1,3年)。
- ・美化活動では、生徒による清掃・安全点検を実施。体育大会、文化祭時のゴミ箱の特設とゴミの分別の呼びかけを実施。
- ・生徒保健委員会と有志による文化祭での展示企画を実施。

⑤総務企画部

- ・携帯連絡網77.3%加入。(1年:85%)
- ・HPの更新は学校長がブログを毎日発行している。
- ・PTA活動は、体育大会の給水や文化祭のバザー開催などを行っている。

⑥3学年

- ・就職、AO入試、指定校推薦、公募制推薦等、個別指導や面接指導を進路指導部と学年団が連携して行っている。
- ・遅刻指導は9月には毎回指導を行い早朝指導も行っており、10月は減る傾向にあった。
- ・文化祭はどのクラスも劇を行い、よく頑張っていた。また、10月19日に選挙前ということもあり、各新聞のHPを見せて各政党の状況を示したり、自分が選挙に出るとしたらどんな項目に重点を置くか考えさせたりした。

⑦2学年

- ・生徒たちはよく頑張っている。仲間づくりをすすめていく。

⑧1学年

- ・遅刻者数年間目標700件以下だが、現在までの遅刻者数は187件で例年よりかなり少なくなっている。
- ・日頃から挨拶の大切さを指導している。

●質疑応答・提言

- ・評価は絶対評価か。評価に対するクレームはないのか。 → 絶対評価だが、クレームは特に聞いていない。
- ・中学校は絶対評価になってからクレームが多い。相対評価は並べて評価するだけなのでクレームはなかった。
- ・昨年度は結果が出ていないという報告だが、今年は結果として数値目標を上回っているとか、こういうふうになってきたとか、明るい兆しが見えてきているように感じる。先生方もここが踏ん張りどころだと思う。
- ・遅刻数でも、平成25年度から比べると激減している。先生方の取り組みの成果と言える。
- ・子供たちも頑張っている。それを学習などに結びつける具体的な方策が必要。
- ・交通事故が多いのが気になる。基本的に左側通行で、並走してはだめですよというところが守りにくい。学校での指導を引き続きお願いしたい。また、自転車の指導は警察に依頼するのもよいのでは。 → 5月に1年生対象に教習所やJAFなどからきてもらっているが、スタントマンが実際に事故を再現するなどもっと厳しいものを探している。
- ・携帯連絡網を災害時の連絡に使えないか。 → 東大阪の取り組みの一つに地域の安否確認システムに取り組んでいる。ある大学の留学生の場合、言葉の問題もあり携帯電話を使って安否確認をするシステムができているらしい。それは携帯電話を持っていることが前提。地域では、高齢の方が持っていなかったりして、そういうシステムに入っていけない。

今の高校生はスマホの所有率が高いと思うので、何かできるのではないか。→ 現在の契約はこちらからの配信だけ。双方向にするとかなり高額になると聞いている。特別なものを考えなくても、生徒が使っているものを活用することもできる。

5. 学校教育自己診断質問項目について【教頭より】

- ・年2回「安心して安全な学校」に関するアンケート、年1回「いじめ」に関するアンケートを実施している。

6. 意見交換・提言など

- ・予習、復習をする子としない子とアルバイトとの関係は。→ 意識がある生徒は関係なく予習、復習している。
- ・先生は生徒を支援し、子どもたちの自尊感情を高めて取り組ませることが肝要。引き続きお願いしたい。

7. 事務連絡

- ・創立10周年記念式典について
- ・次回日程

第3回 平成30年2月19日(月)午前10時より

以上